

行雲流水

題字 行雲流水 揮毫 四国中央教育会OB 和田貴臣男 解説は3面



発行所
(公財)愛媛県教育会
〒790-8545
松山市祝谷町1丁目5-33
エスポール愛媛文教会館内
電話 (089) 945-8644
FAX (089) 945-1459
E-mail info@ehime-kyouikukai.jp

謹賀新年
(公財)愛媛県教育会
理事長 一色 光
役員一同

社会総がかりで愛媛教育の推進を 「えひめ教育の日」制定十年目を迎えて



公益財団法人愛媛県教育会
理事長 一色 光

明けまして

おめでとうございます
皆様におかれましては、良
い年をお迎えのこととお喜び
申し上げます。今年「丁酉
酉」年、酉のつく年は商売繁
盛に繋がると考えられており
ますが、学問や商売などで成
果が得られる年にしたいもの
です。

昨年、愛媛県教育会は創立
五十年を迎えました。この間、
先輩諸氏の御尽力により、常
に愛媛教育の進展のために中
核的な役割を果たしてきたと
自負しているところです。さ
らに公益財団法人に移行し、
互助互恵、助け合いの精神で
社会貢献活動の充実に努めて
いるところです。

このような中、愛媛県教育
会が中心となって教育関係団
体、行政に呼びかけて制定し
た「えひめ教育の日」が、今
年で十年目を迎えます。

愛媛で生まれ育ったことを
誇りとし、思いやりの心を持
ち、互いに助け合うような子ど
もを育む愛媛教育の創造を目
指して、県民総ぐるみで教育
を考え、行動する契機となる
日として制定しました。教育
に対する県民の意識・関心を
高め、行政や学校だけでなく、
家庭や地域などが一体となつ
て、本県教育の振興・発展を図
る契機となるように普及・定
着に努めているところです。

様々な事業を実施していま
すが、「推進大会」や「推進

フェスティバル」を中予から
今治、八幡浜、西条と県下各
地で開催することによって、
地元の学校・PTAや行政、
校長会や地区教育会などの団
体との協働意識も高まり、県
民運動として徐々に浸透して
きていると感じています。

今後とも社会総がかりで推
進する教育の機運を盛り上
げ、「地域と共にある学校」
を合言葉に、学校と地域など
が協働・参画して取り組む体
制づくりを構築し、「地域の
子どもは地域で育てる」とい
う風土を醸成していきたいも
のです。

愛媛県教育会は、社会総が
かりの教育を推進する核にな
り、地域教育のコーディネー
ターの役割をしっかりと果たし
ていきたいと考えています。
事業推進にあたっては地区教
育会や行政、関係機関・団体
などと一層連携・協働し、チ
ーム愛媛で活動してまいりた
いと思っておりますので、本年もよ
ろしく願います。



(大倉可貴先生・画)

響

謹賀新年。年も改
まり、各位に年賀の
言葉を贈りながら、
一方で、高浜虚子の
ような見方をしたり
もする。「去年今年
貫く棒の如きもの」▼とはい
え節目の一月、元旦初詣で一
陽来復を願い、三日坊主を恐
れず、一念発起するのも大事。
では、何を。何がしたい。
あこがれはあるか。ひとまず、
四字熟語で遊んでみる▼合縁
奇縁に期待し、一喜一憂しな
がらも無病息災、順風満帆で
あれと。夫唱婦随で(家によつ
ては)婦唱夫随)一家団欒の夕
べ。医食同源にて、暴饮暴食、
牛飲馬食を慎み、捧腹絶倒の
チャンスに身を置く。狂喜乱
舞もたまにはよし。ストレス
発散免疫力上昇間違いない。
自由奔放、佳人(美人)薄命は
戯言の世界。目指すは自給自
足。足りないものは現物支給
もやむなし。物々交換という
「田舎のコミュニケーション」
もありがたい▼あこがれは晴
耕雨読。老若男女、読書三昧。
今年度の俳句募集ジュニアの
部優秀句「十五夜にふられて
今夜は本開く(垣生中二年)。
老いては子に教えられ、共に
歩き、粋な今年となりますよ
う。

ひとこと

A-1に負けない
学校力



愛媛県小中学校長会
副会長
山本 恵

人工知能『東ロボくん』東大合格断念の記事を読んでいる。すると、校内合唱コンクールに向けて各学級の美しい歌声が響いてきた。不思議と心が和む自分を感じている。人工知能と合唱と相反する価値観がそうさせたのかもしれない。

合唱は香り高き学校文化の一つである。「合唱は絆深める心歌 僕がいて君がいてこそ このハーモニー」を合言葉に、各学級が話し合い、練習方法を考え、練習を積み重ねていく。そこにはコミュニケーション、チームワーク、忍耐、省察力、目標達成に向かう力、自己有用感など数

値では測れない見えない力が育っている。ある学級では、歌詞を朗読し、意味を確認し、情景や心情をイメージし、歌に表情を付けようと工夫をしていた。文の意味や文脈を理解することが苦手な『東ロボくん』に出来るはずのない活動である。

今、生活や仕事のあらゆる場面でデジタル化が進むデジタルイゼーションの波が押し寄せてきている。AIがいろいろな職業を代替していく時代に、人間が能力を発揮して活躍するとはどういうことかが突き付けられている。

杞憂することはない。学校には校内合唱コンクールのように、抽象的な世界ではなく、現実的な世界で社会を生き抜いていく力が身に付いているのではない。心と頭を仲間と共にアクティブで主体的な活動が展開されているのではない。そして、言葉の美しさ、温かさに触れ、心豊かな感性が育っているのではない。

「学校力」を信じたい。

(伊予市立港南中学校長)

学校紹介

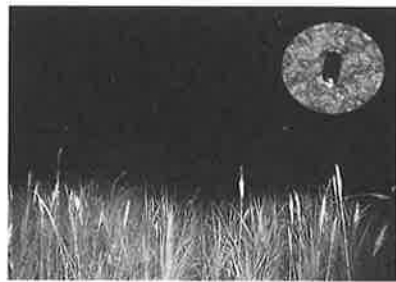
No.175

松山市立小野小学校

ゲンジボタルに会いに行く

豊かな自然が残る小野地区では、五月の下旬頃からホタルが飛びはじめます。

六月五日、小野公民館と小野小学校PTA共催の恒例行事、小野つ子アトベンチャー「小野つ子ホタル観賞会」が開催されました。午後七時、暗闇の中に浮かび上がる幻想的な光のショーを見に行こうと、保育園児や小学生、保護者の約百五十名が小野谷分館に集まりました。



初めに、地域の方からホタルの生態やホタルを観賞するときのマナーについての話がありました。「オスとメスの見分け方は?」「ホタルはどこに住んでいるの?」、普段、子どもたちが疑問に思っていることについて、スライドを使いながら分かりやすく教えてくださいました。学習会が終わる頃には辺りに夜のとばりが降り、分館周辺の暗がりには、ぼつぼつと小さな光が点滅しはじめました。

懐中電灯の代わりにケミカルライトを持った子どもたちは、暗くなった山道を足元に気を付けながら遡って行きました。「うっわー、たくさんいるよー。」田んぼからカエルの合唱が聞こえる中、暗闇の中でホタルを見つけた歓声が山あいこだまします。川沿いの草木がうっそうと茂っている辺りでは、たくさんさんのホタルが次々と青白い光を放ちながら乱舞する様子を見ることができました。初めてこの会に参加した私自身も懐かしい子どもの頃を思い出し、何となくノスタルジックな気分になりました。



俳画・水墨画教室
渡部 平人 作

偶然、足元に不時着したホタルを優しく扱い、草むらへと帰っていた子どもたち。自然豊かな小野の里で、このような体験を通して心優しい人に育っていくことでしょう。小野地区ならではの行事。ただ観賞するのではなく、身近な自然や命について考えるよい機会にもなっています。PTAや公民館など各種団体による行事が、年間を通して活発に行われている地区、それが小野地区です。そして、こうした地区に支えられているのが、小野小学校。今後も「学校・家庭・地域」の連携の下、それぞれが役割を果たしながら、「ふるさと小野」のよさを小野つ子たちに味わってもらいたいと思います。

(教頭 中野 昭司)

題字に寄せて

行雲流水



和泉中央教育会
OB
和田貴臣男

「行雲流水」とは、空を行く雲や流れる水のように、ひとつのことに執着せず、自然にまかせて行動すること。

今から十七年前、小学六年生に、卒業記念として、四字熟語の毛筆作品を指導しているときに、一人の児童から、「先生が好き四字熟語は何ですか。」と質問され、思わず「行雲流水がいいなあ。何となく文字が好きだし、何かいい感じがするから。」と答えたことを、昨日のことのようによく覚えています。

これからの人生、自然な心で、自由を大切にしながら、「行雲流水」のような生き方が、ほんの少しでもできればいいなあと思っています。

ふるさとに生きる

大洲の文化の発信地「山荘画廊」



井上 高明先生

訪問者

神元 寿子
谷岡 富代

(大洲市教育会)

伊予の小京都と言われる大洲を流れる肱川の景勝地「臥龍淵」に臨む「臥龍山荘」。

そのすぐそばで「山荘画廊・臥龍茶屋」を経営されている井上高明先生を訪問させていただきました。建物は和風で、一階は水琴窟がある庭園が風流な喫茶店、二階は画廊で、様々な作品の展示場となっています。

一 画廊を始められたきっかけは？

画廊を開く夢は、絵を描き始めた約五十年前にさかのぼります。画廊を経営する知人の勧めで個展を開き、風景画七点を出品しました。点数はわずかでしたが、多くの人が入場してくれた感動が忘れられず、「いつかは作品発表の場となる画廊を開きたい」との思いにつながりました。偶然にも「臥龍山荘」のそばに

土地を所有していたこと、「臥龍山荘」が一般公開されるようになったことがタイミングよく重なり、定年を二年残して退職し、夢を叶えました。

作品の発表は作品の制作者にとって、とても大切なことです。大洲市で初めての本格的な展示場として、平成二年四月から出発しました。絵画・書・工芸・彫刻等、幅広い作品の発表の場として、二十六年間が夢のように過ぎました。

新採だった頃、教頭先生から頂いた「道につないである羊にも挨拶して学校へ来なはいいよ。」の言葉。その言葉を胸に秘めて画廊と喫茶店の経営をし

No. 89

ています。二 そのほかに活動されていることは？

二〇〇一年から「扇面の美展」を開催しています。大洲市は江戸時代の儒学者中江藤樹ゆかりの地ということで、滋賀県高島市と友好都市の提携をしています。この高島市は、扇骨の生産が盛んなことから、扇に絵を描くことを通じて交流を深めようと企画しました。毎年多数の素晴らしい作品が展示されています。画家としても現役で、毎年県展に出品しています。また、大洲城や肱川、富士山などを題材に水彩画を描き、絵葉書や一筆せんにはしています。これは土産品として画廊等に置き、観光客に喜ばれています。

三 対談を終えて
トレードマークの作務衣姿で温かく迎えていただき、同

じ空間に在るだけで心が癒され、穏やかな気持ちになりました。お話を通して、印象に残ったのは、「感謝」と「努力」という言葉です。来場者には必ず心のこもった礼状を出され、人と人とのつながりを大切にされています。また、画廊の発展を願って、絶え間ない努力を続けておられます。

これからもますますお元気で、たくさんの方々に大洲の文化を発信していただきたいと思います。

井上 高明先生 (84歳)
(大洲市大洲在住)

スケッチ 水郷大洲

Post Card



井上 高明 絵

あんしんむすぶ

教職員共済生協

- 死亡・入院・特定の病気 3つの「もしも」に備えて
- 予期せぬ火災・住宅災害・自然災害に備えて
- 充実の補償、安心のサポート&サービス

トリプルガード

火災共済
自然災害共済

自動車共済



資料請求は下記へ。お気軽にご連絡ください。

教職員共済生活協同組合 愛媛県事業所
〒790-8545 松山市祝谷町1-5-33 (愛媛文教会館内)
☎089-998-2141 <http://www.kyosyokuin.or.jp/>

特集 私の夢―新年への抱負―

大きく育てよ きれいに咲けよ



西条教育会
OB
川上 善秋

作りに苦勞していることを聞いた。苗も大量に必要で、種類も多くあったほうがいい。

退職して七年、雑草園になつていた田んぼを耕し

「ヨッシー農園」と名付けて、野菜と花の苗を育成している。最初は野菜が主であった。わずかにできたトマトを家族のものが「おいしい！」と言ってくれた。それがうれしかった。「よし、もつとおいしいものを作ってみよう。」と、次は種から挑戦した。最初はなかなか芽が出ず、やっとなつた新芽も寒波や虫にやられるなどしてうまくいかなかったが、「ほどほどがベスト」と取り組み、やがてできたトマトを孫が「じーじのトマトはめっちゃうまい。」とこのことばに大きなエネルギーをもらった。

そんな時、学校は花壇、花

そこで、西条教育会の支援

を頂きながら、障害を抱えている人たちと一緒に花の苗づくりに取り組んでいる。種から苗を作ることは難しかったが、それまでの野菜づくりのノウハウが大いに役だった。マリーゴールド、サルビア、葉ボタン、桜草、パンジーとピオラ、ひまわりなど、種まきから苗の植え替え、肥料やりなど、時期に応じた作業も見よう見まねで行い、大きくなった苗は年三、四回、市内の学校に送り出している。

今、どこの育苗施設もできた苗を販売するのが大変であるが、学校はいろんな苗を快く引き受けてくれ、立派に育ててくれる。ありがたい。

この苗がやがて学校できれいに咲き、子どもたちが元気で駆け回っている光景を夢見ながら「大きく育てよ、きれいに咲けよ。」と願っている。

調理実習に思う



西条市大西中
教諭
田中 和友

「先生、できました。」

私が担当する中学一年生の初めての調理実習の日のことだ。教室を覗き込むと、生徒の笑顔の下に「鮭のムニエル」が香ばしく焼きあがっていた。

二〇一六年、私にとって大きな環境の変化があった。住み慣れた実家を離れ、一人暮らしを始めたのだ。家事がらいなんとかなるだろうと意気込んでスタートした新生活だったが、慣れないことに悪戦苦闘し、母の偉大さを痛感する毎日である。

特に食に関しては、毎日何を食べようかと考えることから、買い物・調理・片づけまで、どうすれば効率よく行うことができるのかと、しばしば考え込んでしまう。手順を考えている時間はまるで難解な数学の問題を解くかのようで楽しい。しかしながら結局たどり着く結論はいつも同じ

で、

「お惣菜を買って帰ろう。」と生来の怠け者が顔を出す。

そんな私だが、生徒の手料理を味わいながら自分自身の中学校時代を思い出し、家庭科の授業をもう少ししっかりと受けておけばよかったと後悔した。だからこそ、二〇一七年は料理の腕を上げること力を入れてみようと思っている。

教科書を開くと、次回の調理実習では『豚肉のしょうが焼き』を作るそうだ。生徒にひそかな対抗心を燃やし、こっそりと練習してみようと決意をした。

新年の抱負 〜感謝の一年に〜



小麻生町
教諭
田村 幸一

三十歳。教員五年目。本年二〇一七年は、自分自身とつて、様々な節目を迎える。今回、このような機会をいただいたので、教員になってからの四年間を振り返り、新年の抱負を述べていきたい。

一年目、希望と不安が入り混じった気持ちの中、今治での教員生活がスタート。「自分は教員に向いていないのでは」と日々悩み続けた。二年目、二年生の担任に。苦手な音楽の授業では、子どもたちと大合唱。学級経営に苦勞したが、周りの先生方に何度も助けられた。三年目、弓削島での島生活。島ぐるみの温かさを実感。念願だったソフトボール指導では、十何年ぶりの大勝利に子どもや保護者と歓喜し合った。しかし、大病の発症。多くの方々の励ましにより病魔を乗り越えることができた。四年目、実家に近い砥部町へ。高校卒業以来、やっと地元に戻って来ることができたという安心感。この一年は、自分のことだけでなく、学校のために自分に何ができるかを考えて行動している。

本年は、「感謝」という言葉を掲げて、日々精進していきたい。子どもにも大人にも「ありがとう」という言葉をたくさん言える一年にしていきたい。

最後に、「子どもにとって最大の教育環境は教師自身

である」との言葉を胸に刻み、子どもの幸福のために、目の前の一人の子どもの声に耳を傾け、そっと寄り添うことのできる人間に成長していきたい。一年にしていきたい。

「取り」「摂り」「穫り」



上浮穴教育会
OB
高崎 和夫

三月末に定年退職をして迎える今までは少し違う新年。次の三つの「とり」を抱負として考えてみた。

まず「自分の体から余分なものを『取り』さること」。この九か月でズボンのベルトの穴が足りなくなってしまう

た。体に蓄積された脂肪、そして、高めの血糖値。これらを計画的に減らしていかなければならない。そのために欠かせないのが運動。冬はスキーという、私の大好きなスポーツが控えているが、日々できる運動を、年間通して行っていく必要がある。手始めに、毎日三十分のウォーキングに取りかかったところである。一年間続けていきたいものだ。次に「心の栄養を『摂り』に出かけること」である。私の趣味の一つに音楽鑑賞やスポーツ観戦がある。コンサートや試合の熱い熱気を通して、多くの感動や満足感に浸ることができる。今後は、これらが行きたかった日本各地への旅

祝 受章・受賞おめでとうございます

◇瑞宝双光章（高齢者叙勲）

- | | | | |
|--------------|-----|--------------|------|
| 河津 房雄様 | 88歳 | 元小松町立小松小学校長 | 西条市 |
| 岡 巖様 | 88歳 | 元明浜町立依津小学校長 | 西予市 |
| 岡田 勉様 | 88歳 | 元新居浜市立南中学校長 | 新居浜市 |
| 矢能 一成様 | 88歳 | 元松山市立桑原小学校長 | 松山市 |
| 御手洗昭典様 | 88歳 | 元菊間町立亀岡小学校長 | 今治市 |
| 山本 正治様 | 88歳 | 元八幡浜市立神山小学校長 | 八幡浜市 |
| ◇教育者文部科学大臣表彰 | | | |
| 新家 益一様 | 60歳 | 松山市立番町小学校長 | 松山市 |
| 日和佐慶司様 | 60歳 | 西条市立壬生川小学校長 | 西条市 |

行をセットにして、より一層の「わくわく感」を楽しみたいと思う。

三つ目は「おいしい野菜を『穫り』たい」である。退職を機に、狭いながらも家庭菜園を始めた。土作り、植え付け、世話、収穫、そして、それを食する喜びや難しさをつくづく感じている。味や出来はまだまだであるが、それはそれで、来年こそはという新たな意欲につながっている。

夢は石鎚山頂に立つ



西予教育会
OB
酒井 節子

紅葉の石鎚、雪を抱く石鎚、新緑の石鎚の雄々しい姿は、私たち愛媛県人を魅了する。学生時代から五度挑戦してきた石鎚だけれど、今はただ新聞やテレビでその姿を眺めるだけになってしまった。土小屋の登山口からしばらく続く自然が存分に味わえる。そ

して、最後の難関の鎖を突破して頂上に立つ。その時の感動をもう一度味わいたい。それが、今の私の夢である。簡単なことだけれど、今の自分には果たせそうもない。

それというのも、数年前に痛めた膝の影響で、坂道や階段の上り下りが困難になってきたことにある。少し長い距離を歩くだけでも、股や腰の辺りが痛み出す。週に一度、整形外科や整体に通っているものの一向に良くならない。痛いからといって歩かなければ、ますます動けなくなってしまうだろう。そんな不安を抑えようと、孫の保育園の迎えに行ったり、サプリメントを服用したり、筋肉をつける注射をしてもらったり、自分では努力しているつもりなのに、古希の年齢に近いから無理なのかなあ。

とにかく、この痛みを治して石鎚の山頂を目指したい。生来ぐうたらな私は、目標を掲げるだけで終わってしまっそうだけれど、実現できればこんなに幸せなことはないだろう。夢は石鎚山頂に立つ！叶える日が来るかなあ。

自動車大口団体割引保険のおすすめ

学校生協組合員様は、現在ご加入の自動車保険無事故割引から12%割引、一括払でさらに5%割引になります。保険料のお支払いは給与引去となります。教員OBの方も口座振替（一括払）で適用されます。



— 引受保険会社 —

- 東京海上日動火災保険（株）
- 三井住友海上火災保険（株）
- 損害保険ジャパン日本興亜（株）

— お問い合わせは —

愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 郡市学校生活協同組合

愛媛マラソン

2017.2.12開催

参加される教職員の方に
Tシャツを進呈予定!

詳しくは下記までお問い合わせください。

教育振興
事業
福祉
事業
共済
事業
(提携保険事業)



公益財団法人 日本教育公務員弘済会愛媛支部
〒790-8545 愛媛県松山市祝町1-5-33 エスポワール愛媛文教会館内
TEL(089)932-8358 FAX(089)932-8357

第68回日連教栃木大会記念講演(昨年八月開催)

演題「世界遺産日光とその謎と魅力」

日光市天台宗観音寺住職
元栃木県立博物館学芸部技幹兼人文課長

千田 孝明氏

報告者



小城平南町教頭 西 邦彦

一 はじめに

世界遺産日光、ここは国宝、重要文化財がひしめいている日光山内といわれる聖地である。建造物は二社一寺の所有で、日光二荒山神社が重要文化財二十三棟。日光東照宮が国宝八棟、重要文化財三十四棟。日光山輪王寺が国宝一棟、重要文化財三十七棟である。

二 何故「二社一寺」なのか

今年、勝道上人が日光を開いて千二百五十年、日光東照宮鎮座から四百年目にあたる。勝道上人は、七十六年に日光山内に草庵をむすんだ後、神と仏を祀って修行に入ったと言われている。七八二年、男体山山頂を極め、中

三 何故、東照宮は日光に祀られたのか

家康の遺言である。家康は亡くなる前に、天海・本多正純・金地院崇伝の三人に、死後は久能山に埋葬し、葬儀は菩提寺増上寺で、位牌は三河の大樹寺に、一周忌を過ぎた後は、日光山に小さなお堂を建てて勧請し、八州の鎮守になりたいと伝えた。家康は、元和二年四月十七日に亡くなり、一年後、遺言どおり日光東照社に鎮座した。

四 東照宮に祀られているのは、家康だけではない

現在、祀られているのは、家康(東照権現・薬師如来)、

頼朝(日光権現・阿弥陀如来)、秀吉(山王権現・釈迦如来)だと言われている。男体山・女峰山・太郎山の三つの山に宿る神様を日光三所権現といって山岳信仰霊場である。天海は、三つにこだわり元々あった三つの権現を踏襲するのがふさわしいということなのである。

五 東照宮を創出した天海僧正のねらいは

家康は、日光を比叡山と同じように復興させようとして天海を日光山の貫主に任命した。日光を東の比叡山として再生し、江戸と日光山を、中世の京都と比叡山の関係のようになしよとすると天海の構想と、將軍として幕府を立て江戸を都として整備しようという家康の構想、家康は政治的な、天海は宗教的な聖地として目指す方向が合致したわけである。

六 日光結構の妙

大猷院は社殿と本殿が東北を向き、行き着く先は家康の宝塔である。さらに、家光の奥社宝塔の先には天海の霊廟がある。家光の墓は、家康と天海の二人に向かつて建てられ、参道の先は江戸に向かつている。表鬼門に勝道上人の開山堂が、裏鬼門には天海の

七 五重塔の謎

昔から五重塔は地震に強いと言われていた。宙に浮いた心柱が揺れて、うまく調節しているというのは無関係だとする専門家もいるが、日本の五重塔が地震に強いというのは事実である。心柱の門効果や五つの帽子のような屋根が波打って揺れ、力を分散するという効果も事実である。

八 おわりに

世界遺産日光をご覧いただくとき、今日の話をちょっと思い出してご覧いただくと、見方も変わってくるのではないかと思います。



青山・はるやまカード会員 ご入会のおすすめ

愛媛県学校生活協同組合連合会では、青山・はるやま、両店舗と提携店契約を結んでおります。



どちらも学校生活協同組合員価格として、店頭価格より10%の割引が適用されます。

お問い合わせは
愛媛県学校生活協同組合連合会
電話 (089) 925-0555
または 都市学校生活協同組合

足跡をつづる、私を記す。形に残す。
あなたが生んだ夢のドラマを未来に伝えませんか。

本づくり応援

プロのスタッフが校正作業をサポートします！
プロのデザイナーがデザイン力を発揮します！
●規格・装丁のご提案 ●編集方針のご提案 ●レイアウト見本のご提示
●原稿作りのアドバイス ●予算のお見積り ーその他、ご相談承ります。ー

SEKI 印刷営業部 TEL (089)945-0112 FAX (089)947-6073

SEKI セキ株式会社

愛媛県 松山市 堀内町 7-7-1 TEL (089)945-0111
愛媛県 松山市 堀内町 3丁目 TEL (089)947-1240
愛媛県 大洲市 高松 TEL (089)945-0112 http://www.seki.co.jp

ふるさとスケッチ

No.396

瑞應寺



新居浜市川東中
塩見 平



新居浜の南端、四国山脈のふもとに位置する瑞應寺は、曹洞宗最高位の別格寺院である。瑞應寺は、禅門修行道場であり多くの雲水が修業に励む。本堂の近くに樹齢八百年という大銀杏がある。幹の各

所に柱瘤を生じ、乳出しの霊木として有名である。何も考えず落ち葉をゆつくり踏みしめるのも秋を味わう醍醐味かなと思う。

ご冥福をお祈りします

白石	乙二様	92歳	今治市伯方町木浦甲一六七	28	11	1
児島	道子様	87歳	宇和島市津島高田甲二九〇	28	11	1
原田	稔三郎様	87歳	松山市道後町一丁目五三三	28	11	1
森	玲子様	82歳	松山市岩崎町一丁目七九	28	11	3
松本	恵美様	85歳	喜多郡内子町内子三二一	28	11	6
吉村	千鶴子様	89歳	南宇和郡愛南町城辺甲四	28	11	7
守屋	弘様	85歳	四国中央市下柏町四九一	28	11	8
久保	日丸様	83歳	宇和島市大宮町二二二	28	11	9
山中	久夫様	89歳	大洲市五郎甲一七〇八	28	11	14
武田	龍美様	87歳	今治市南鳥生町四丁目二二六	28	11	15
尾池	恵晴様	96歳	西条市朔日市六三一	28	11	21

ローカルトピックス

子規の句碑によせて

「門さきにうつむきあふや 百合の花」
北伊予小学校の運動場の一角、うつそうと茂った木々の間に、正岡子規の句碑があります。

明治二十四年、校区、永田村の武市庫太を訪ねた子規が、門前の様子を詠んだ句です。なごやかな、しかも謙虚な心情の子どもに育ってもらいたいという願いから、この



句が選ばれたと聞きます。昭和四十六年の春に完成、除幕式が行われました。
この句碑が建立されているのは、「思い出の庭」。旧校舎玄関の前庭だったところで、

北伊予小学校の卒業生にとつて、文字通りたくさんさんの思い出が詰まった場所です。
ここに、放課後児童クラブの施設が建設されることになり、句碑は、二宮金次郎像、地域の偉人、相原賢の頌徳碑とともに、現校舎の正門付近に移転することになりました。
北伊予小学校は、平成二十八年で創立百三十年を迎えました。北伊予っ子の健やかな成長は、今も昔も皆の願いです。

文教月報編集協力委員 田中ひとみ
松前町北伊予小学校長

第九回「えひめ教育の日」推進大会・フェスティバル

(於 西条市)

今年も、十一月一日の「えひめ教育の日」に合わせて第九回の推進大会・フェスティバルが西条市総合文化会館を会場として、盛大に開催されました。今回は、昨年の南予会場からのバトンを受けて東予地区での実施となり、水の都・西条の豊かでさわやかな空気のなかで執り行われました。
五〇〇人余りの参加者を迎えての開会式では、推進会議会長の一色県教育会理事長のあいさつの後、愛媛県議会議長の赤松様、西条市長の青野

様が、推進会議の顧問である愛媛県教育委員会教育長の井上様よりご祝辞をいただきました。続いて、「えひめ教育の日」推進宣言、関連写真大賞受賞校表彰、松山青果より寄贈された「愛のあるバナナ」贈呈と続き、推進フェスティバル行事へと移りました。
(フェスティバルの様子は、次面に掲載)

ロビー会場では、西条市内の五県立高校が参加し、展示、物産販売が行われました。高校生たちが作った野菜等の販売も大盛況で、「教育の日」を通して若い力が育っていることを実感し、心豊かになれた一日でした。



「えひめ教育の日」
推進フェスティバル

まず、楠河小学校の古代山城サミット学習発表から推進フェスティバルが始まりました。地域を愛する気持ちが発表の中にあふれていました。続いて、西条西中学校の箏演奏、西条高等学校の合唱です。両校ともに中・高ならではの演奏で、観客を魅了しました。

また、三芳祝太鼓保存会による、伝統芸能「三芳祝太鼓」を披露していただき、小学生らしさたっぷりの勢いある演奏で拍手喝采を受けました。

愛媛県のイメージアップキャラクター「みきちゃん」も駆け付け、ロビーやステージにおいて、「教育の日」に花を添えてくれました。



西条西中・箏演奏



楠河小・古代山城サミット学習発表



西条農高・展示物品販売



三芳祝太鼓保存会「三芳祝太鼓」



西条高・合唱



丹原高・展示物品販売



西条高・展示



小松高・展示



東予高・展示

えひめの先生方によって建てられた会館

ご利用の手引き

エスポワール愛媛文教会館

📖 研修会、会議、ご宴会後のご宿泊に ♨️ 名湯道後温泉引き湯

😊 ご家族、ご友人と当館を拠点に、道後観光はいかがですか



会議に

各種会議・研修会などに
少人数から500名様まで

ご宿泊に

		タイプ	宿泊料金(一人)
一般個人	洋室	シングル	4,500円
		ツイン(2名利用)	4,000円
団体(20名以上)	和室	(利用人数により)	
		小学生	1,500円
		中学生	2,000円
	とも	引率者(教職員、保護者)	3,000円

ご宴会に

忘・新年会、 期末慰労会、
行事打ち上げに

和食、オードブル

3,200円より(飲み放題1,800円)

○朝食(和・洋)は600円、夕食は2,000円よりご用意できます。
○教育会会員は全員割引(1,000円)があります。
○さらに、教育公務員弘済会の教弘保険にご加入の方は割引券3,000円を利用できます。

○ご予約は 089-945-8644(松山市祝谷町1-5-33 愛媛文教会館)

ホームページ <http://www.ehime-bunkyoikaikan.or.jp/>